

平成29年度 当初予算要求の概要

局・区名

建築都市局

要求総額

11,851

百万円

(対前年度予算 + 37.6 %)

局区予算要求方針

建築都市局では、堺のまちの活力や成長を支え、将来にわたり持続可能な都市経営を実現するため、堺市マスタープランに掲げる「堺・3つの挑戦(子育て・歴史文化・低炭素)」及び「市民が安心、元気なまちづくり」の取組みを着実に推進し、定住人口・交流人口の増加に向け、誰もが暮らしやすい環境づくりを進め「住みたい・住み続けたいと思えるまち」の実現をめざした都市づくりを戦略的に進めており、平成29年度の予算要求において、重点項目として、以下の予算要望を行います。

①子育て: 泉北ニュータウンの再生

②歴史文化: 歴史文化資源を活かしたまちなみの再生や、良好な景観の形成、都心や臨海部での賑わいづくり

③低炭素: 公共交通を基軸とした総合交通体系の構築

「市民が安心、元気なまちづくり」の実現に向け、大和川高規格堤防とまちづくりの一体的整備、住宅・建築物の耐震化等

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

◆ 堺・3つの挑戦

1 子育てのまちづくりの推進

要求額

○ 泉北ニュータウン再生推進事業

138 百万円

泉北ニュータウンを再生するため、戸建て空き家については、空家等対策計画に基づく取組を進め、子育て世代の定住化を図ります。また、職住一致・近接のライフスタイルの促進や市外の子育て世代へのPR効果が高いURなどと連携した団地リノベーションを一体的に実施し、将来にわたり多様な世代が住み続けることのできる持続発展可能なまちとしていきます。加えて近畿大学医学部等移転に伴う泉ヶ丘駅周辺及び、梅・美木多駅周辺の再整備の検討を行うとともに、まちびらき50周年の節目の年を祝います。

2 歴史文化のまちづくりの推進

・ まちなみ再生事業

48 百万円

町家などの歴史的建造物が多く残る堺環濠都市北部地区で、「まちなみ修景補助制度」の予算を大幅に増額し、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生に向け、更なる推進を図ります。

○ 良好な景観の形成（屋外広告物関連事業）

24 百万円

世界文化遺産のあるまちとしてふさわしい良好な景観を形成するため、引き続き補助金制度を活用し、百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化を進めるとともに、質の高い広告物の掲出に向け、市民や関係者の更なる意識醸成に取り組めます。

○ 都心活性化推進事業

122 百万円

民間事業者に対して、都市機能導入施設の整備に要する費用を支援するなど、中心市街地における新たな都市魅力の創出を図ります。

・ 臨海部活性化推進事業

408 百万円

堺臨海部の賑わいづくりに向けて、民間事業者と連携し、大浜北町市有地を活用するため、公共施設等の整備を行い、堺旧港地区活性化の取組を進めます。

3 低炭素社会の推進

- ・ 総合交通体系調査

39 百万円

都心交通検討会議のとりまとめ等を踏まえ、都心におけるにぎわい創出に向けた回遊性の向上を図る試験的な取組を引き続き実施するほか、過度な自動車利用の抑制を目的とした交通社会実験の実施に向けた関係者との協議資料の作成を行います。

◆市民が安心、元気なまちづくりの推進

4 安全・安心なまちづくりの推進

- 住宅・建築物耐震・防火等改修促進事業

1,245 百万円

地域の自主的防災活動を支える施設の耐震化推進、空家住宅等を補助対象とし耐震化と同時に空家の活用と連携、木造住宅の改修補助限度額引き上げ、熊本地震の被害を教訓とした無料耐震診断制度の拡充、緊急交通路等沿道建築物の診断補助の延長と除却補助の制度拡充等、様々な取組を実施することにより、既存の住宅・建築物の耐震化を促進し安全性の向上を図ります。

- ・ 大和川左岸（三宝）土地区画整理事業

491 百万円

高規格堤防整備事業との一体的整備による事業効果の早期発現を図るため、地元合意形成に向けた取組を進め、土地区画整理事業に着手します。

行財政改革の項目

1 事業の見直し

- ◎ 泉北ニュータウン住まいアシスト事業補助制度の見直し

1 百万円

泉北ニュータウン住まいアシスト事業補助制度について、事業検証を行い、制度の一部を見直します。